

【死: dead】

死を一般的に言うならば、この世にいなくなることを考えます。しかし、聖書をとおして死を考えてみるならば、いままで考えていたことが、いかに違うかがわかると思います。まず、神が天と地を創造し、人を創造されました。伝道者の書 3 章 11 節「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神が行うみわざの始まりから終わりまでを見極めることができない。」【He has made everything beautiful in its time. Also He has put eternity in their hearts, except that no one can find out the work that God does from beginning to end.】神は、人の心に永遠を思う思いを入れられました。人が永遠に生きたいと思う心がそれです。昔の人が、生き返る時に体が必要だと思い、ミイラにしたことがその証拠ではないでしょうか。死ぬということを聖書から拾うと、創世記 5 章 24 節「・・・、神が彼を取られたので、彼はいなくなった。」【・・・, he was not, for God took him.】エノクのいのちは神が取られました。Ⅱ列王記 2 章 1 節「主がエリヤを竜巻に乗せて天に上げようとしたときのこと・・・」【And it came to pass, when the Lord was about to take up Elijah into heaven by a whirlwind,・・・】エリヤは死ぬことなく、天に上げられました。彼らはどこに行ったのでしょうか？天地創造の神の元に行ったものと考えられます。

人が死んで行くところはよみ(黄泉)と言われます。旧約聖書のヘブル語でシェオル(Sheol)、新約聖書のギリシャ語でハデス(Hades)と書かれています。創世記では、ヤコブがわが子ヨセフを失った時、37 章 35 節「・・・私は嘆き悲しみながら、わが子のところに、よみに下って行きたい。」【For I shall go down into the grave(Sheol) to my son in mourning.】ヤコブはよみを知っていたようです。また、イエスが言われた箇所。マタイ 11 章 23 節「カペナウム、おまえが天に上げられることがあるだろうか。よみにまで落とされるのだ。おまえのうで行われた力あるわざがソドムで行われていたら、ソドムは今日まで残っていたことだろう。」【And you, Capernaum, who are exalted to heaven, will be brought down to Hades; for if the mighty works which were done in you had been done in Sodom, it would have remained until this day.】どちらも、エノクやエリヤが上って行った天とは違うようです。誰も行きたがらないところのようです。

では、どういうところか、聖書にはどう書いてあるのでしょうか。詩編 86 編 13 節「あなたの恵みは私の上に大きく、あなたが私のたましいを、よみの深みから救い出してくださるからです。」【For great is Your mercy toward me, And You have delivered my soul from the depths of Sheol.】よみは深いところで神以外は誰もそこから引き上げることはできません。ヨブ記 10 章 22 節「そこは、暗闇のように真っ暗な地。死の陰があり、秩序がなく、光も暗闇のようです。」【A land as dark as darkness itself, As the shadow of death, without any order, Where even the light is like darkness.】よみは、真っ暗な闇の地のようです。イザヤ 14 章 11 節「おまえの誇り、おまえの琴の音はよみに落とされ、おまえの下には、うじ虫が敷かれ、虫けらがおまえの覆いとなる。」【Your pomp is brought down to Sheol, And the sound of your stringed instruments; The maggot is spread under you, And worms cover you.】こういうところへは、誰も行きたがらないでしょう。

新約聖書のルカ 16 章 23 節「金持ちが、よみで苦しみながら目を上げると、遠くにアブラハムと、その懐にいるラザロが見えた。」【And being in torments in Hades, he lifted up his eyes and saw Abraham afar off, and Lazarus in his bosom.】よみは苦しみの場所である。使徒 2 章 27 節「あなたは、私のたましいをよみに捨て置かず、あなたにある敬虔な者に滅びをお見せにならないからです。」【For You will not leave my soul in Hades, Nor will You allow Your Holy One to see corruption.】この箇所では、逆の読み方をするならば、よみに捨てられた者は滅びであり、捨てられた者です。私たちが思っているように、肉体に関することではなく、たましいの問題として書かれてあります。